

からではなからうか。

回答：小川 光一（予診）

盛岡市内の新患数の増加現象は、昭和57年の病院工事期に減少した患者がもどってきたためであり、昭和53年以後は本質には変動はない。

回答：小川 光一（予診）

今回は、私費の患者がほとんど矯正患者であることから、1月、3月と8月の患者増加は学童・学生である推定した。年齢構成別の月変動は検討していない。

演題8. 歯科治療時の恐怖感が自律神経に及ぼす影響

- 水間 謙三, 中里 滋樹, 木村 貞昭*
- 山口 一成, 藤岡 幸雄, 遠藤 修**
- 瀧 健治***, 岡田 一敏***, 涌沢 玲児***
- 高橋 栄司****

- 岩手医科大学歯学部口腔外科学第一講座
- 岩手医科大学歯学部口腔外科学第二講座*
- 岩手医科大学歯学部保存学第一講座**
- 岩手医科大学医学部麻酔学講座***
- 岩手医科大学歯学部内科学****

以前より歯科治療時に脳貧血様症状、いわゆるデンタルショックや過換気症候群様症状を呈し、治療を正しく受けられない患者がいる。それらの症状は局所麻酔時、タービンによる歯牙切削時や抜歯時など患者が緊張する時に多いが、それらの症状発現のメカニズムについては不明な部分がある。そこで我々はそれらの症状発現のメカニズムを知り、症状を起し易い患者を容易に見え、それに対処できる方法を取れば、患者のみならず術者も救われると考え、我々の経験した2症例をもとに考察を行い、歯科治療時の一助となるよう報告した。

考察する為に用いた内容は2症例の既往歴、歯科治療中の心拍数およびその時の症状と対照群として歯科治療を受けた健康成人の心拍数、血圧、血中ノルアドレナリンとアドレナリンであった。

その結果、自律神経機能が不安定で、歯科治療に不安と恐怖を持つ患者は、その両者が相加して種々の不快症状を呈するが、これを予防するには歯科外来でも応用可能な理学的自律神経機能試験を行い、患者の自律神経反射の程度を把握して、術前の問診で既往歴はもちろん、自律神経の異常である異常な発汗、排便

や排尿、それにインポテンツや起立性低血圧の有無等を徹底して聞くことが大切である。そして、患者とのラポールを確立し、歯科治療に対して恐怖心が強い患者には無理をせず、刺激の小さな処置から始めて、恐怖心の脱感作を行う必要がある。また、実際の処置時は、脳貧血を起しにくいと言われる10°から50°の角度にユニットを倒し、精神的にも肉体的にも刺激侵襲を可及的に、軽減させることが肝要である。しかし、以上の処置にもかかわらず、治療が困難な時は精神安定剤やベラドンナ剤の積極的投与、笑気吸入鎮静法や静脈内鎮静法の応用および全身麻酔下の歯科治療を考慮する必要があると思われた。

質問：深沢 肇（口外1）

症例AおよびBの患者のPCO₂は、どのくらいでしたか。

回答：水間 謙三（口外1）

2症例とも歯科治療時に動脈血ガスは測定しませんでした。症状発現のあった症例Aは発作時に動脈血内の炭酸ガス分圧は正常より低かったと推察されます。症例Bは歯科治療時に何の症状も呈しませんでしたので、動脈血内の炭酸ガス分圧は治療前と不変だったと考えています。

演題9. 模型硬化剤が石こう表面に及ぼす影響

- 佐藤 保, 久保田 稔

岩手医科大学歯学部保存学第一講座

当教室では、学生を対象とした鑄造修復実習において、描記した外形線が消えないよう、また模型の損傷を防ぐことを主目的として、歯型材に模型硬化剤（モデラック）を使用してきた。しかし、硬石こうにモデラックを応用した際の報告はあるものの、超硬石こうに対する報告はみあたらないようです。そこで、今回我々は、石こうの表面硬さ、表面粗さ、及びモデラックの被膜厚さについて実験を行い、モデラックの効果について検討した。

（材料及び方法）

超石こうは Velmix stone (SYBRON/Kerr社) 及び Fuji rock (G. C 社) の2種を硬石こうは New plastone (G. C 社) 1種の計3種を用い各石こうにつき5個、計15個の直径20mm、高さ30mmの円柱状試片を作製した。試片の上面を4区分し、 $\frac{1}{4}$ にはモデラックを塗布せず、他の $\frac{3}{4}$ には石こう練和から各々1時